

第1章 基本的な考え方（P1～）

- ◆ 東京2020大会に向けて「さらに強力に推進が必要な分野」や「新たな対応が求められる分野」など、**重点的に取り組むべき施策を選定（第2章）**
- ◆ 重点的な取組の成果を大会後にレガシーとして活用するとともに、**大会前後を通じた継続的な取組も着実に実施（第3章）**することで、大会開催を契機として観光産業を飛躍させる。
- ◆ 計画の対象期間は、2019年度から東京2020大会の開催される2020年度までとする。

第2章 東京2020大会に向けた重点的な取組（P5～）

重点テーマ1

世界一のおもてなし都市・東京の実現 ～あらゆる旅行者を歓迎する東京～

1. 観光案内機能の充実（P8～）

- 地域ごとの整備状況にあわせた無料Wi-Fi等の**観光案内インフラ整備の加速化**
- アクセシブル・ツーリズム専用窓口の試行設置など**東京観光情報センターの機能強化**
- 表彰制度の創設によるモチベーション向上などの**観光ボランティアの育成・活用**
- 観光案内インフラ等を活用した**災害時の外国人旅行者への情報提供体制の充実**

2. 多言語対応の強化（P13～）

- 観光関連事業者に対する**多言語コールセンターサービスの対応言語の拡充**
- 小売事業者向けの指さしで会話ができる**コミュニケーションシート**の作成
- タクシー事業者向けの多言語対応等に活用できる**タブレット端末等導入支援の拡大**

3. 宿泊施設のバリアフリー化の推進（P16～）

- 一般客室のバリアフリー基準の制定と**宿泊施設のバリアフリー化支援の拡充**
- バリアフリー観光情報を集約した**総合ウェブサイトの構築**

重点テーマ2

世界の旅行者を楽しませる旅行体験の創出 ～多彩で良質な体験ができる東京～

1. ナイトライフ観光の推進（P20～）

- 自然、建築物等に加え、**東京2020大会期間中のライトアップ**の取組を支援
- 年間を通じて行う取組など**地域のナイトライフ観光振興**を支援
- **エンターテインメント情報**を発信するポータルサイトを制作する民間事業者への支援

2. 都内各地域の多彩な魅力の開発と発信（P23～）

- 地域の食、伝統文化体験等の**東京2020大会を生かした大規模イベント**等への支援
- 観光協会や民間企業など**多様な主体が連携**した地域の観光資源開発への支援
- 東京の魅力の再発見に向けた**街歩きツアーの拡充**
- **アニメ・キャラクター等デザインマンホール**の活用の推進
- **多摩・島しょ地域**の豊かな自然や文化等を生かした体験コンテンツの造成支援
- **島しょ地域のキャッシュレス化**の仕組みの構築に向けた実証実験

重点テーマ3

旅行地としての世界的な認知度の向上 ～グローバルに魅力を発信する東京～

1. 大会開催に向けた観光プロモーションの展開 (P28～)

- ▶ 世界的なCM展開やオンライン広告など大会前後を通じた全世界的な観光PRの強化
- ▶ アイコンを活用した都民・民間事業者を巻き込んだ旅行者受入機運の醸成
- ▶ 国・地域の特性に応じたプロモーションの展開と観光レップの拡充

2. 海外企業のビジネスイベントの誘致 (P31～)

- ▶ 訪問営業や海外トレードショーへの出展等による報奨旅行等の誘致強化
- ▶ ショーケースイベントの実施によるユニークベニューの活用推進

3. 日本各地と連携した旅行者誘致 (P35～)

- ▶ 東北、中国・四国、九州、北陸の各地域と連携した旅行者誘致の取組の強化
- ▶ ラグビーワールドカップ2019™開催都市と連携した取組の強化
- ▶ 小笠原諸島を持つ都と同様に世界自然遺産を持つ4道県と連携した旅行者誘致

第3章 大会前後を通じた継続的な取組 (P39～)

- ◆ 東京2020大会に向けた重点的な取組(第2章)に加え、中長期的な視点に立って観光産業を支える基盤を継続的に強化していくことが必要
- ◆ 「持続可能な観光」等の観点から、旅行者と地域の住民との共存といった視点も見据えている。

1. 経済波及効果に注目した旅行者誘致

(富裕な旅行者層の誘致／国際会議誘致・開催支援の強化／MICE開催都市としての基盤整備)

2. 持続可能な地域の観光振興

(地域の観光関連団体の経営力の強化／多摩・島しょ地域の基盤整備)

3. 観光関連事業者の経営力向上への支援

(観光関連事業者のインバウンド対応力向上への支援／観光人材の育成／快適な滞在環境の整備)

第4章 東京2020大会のレガシーを生かし共存共栄へ (P47～)

- ◆ 本プランによるレガシーを大会後の観光産業の発展の礎とするとともに、東京の活力を日本各地へ波及させ、東京と日本各地の共存共栄を図る。

参考 観光を取り巻く現状 (P51～)